

く・ら・そ

No.8



「く・ら・そ」はこれから北海道で定住先を探す方を応援するニュースレターです。

今号では、〈地方移住に役立つのは「人脈」〉〈地域おこし協力隊募集情報〉〈後志総合振興局の4自治体紹介〉をお届けします。

道内の多くの自治体で、独自の移住・定住者支援をおこなっています。右記QRコードから今回ご紹介しているまちの移住定住情報をご覧ください。



島牧村



黒松内町



真狩村



赤井川村

地方移住に役立つのは「人脈」

NPO 法人 北海道ふるさと回帰支援センター
理事長 佐藤隆

私のところには、行政関係者含めて道内各地から「人材を探している」という相談や情報が寄せられます。なかには、探している人材の条件がいろいろあり、公に募集をかけるにくいものもあります。たとえば、先日、あるまちからこんな相談がありました。

観光協会の事務局長を探している。まちにある様々な特産物をうまく活用し、観光資源としてPRしながら交流人口を増やし、まちの収益をあげたい。とても大事なポジションなので、アイデア豊かでまちのために一生懸命やってくれる人がいたら紹介してほしい。

希望の条件にあう人は、通常、何か仕事をしています。かなり、理想が高いと思いますが、それだけ、まちは真剣に探しているのだな、ということが伝わりました。

こういった人材募集の場合、人脈がものを言います。話を聞いた私から、数人の心当たりがありそうな人に聞いてみたり…と、求められている人材につながりそうな人に連絡します。ぴったりとした人が見つかるまで、時間が要することもあります。まるで運命のように、早く見つかることもあります。また、日ごろから相談を受けている移住希望者の中に、適任の方がいないかどうか確認し、いれはまず先に連絡します。

移住に必要なのは、「住む場所と仕事」そして「人脈」だと私は思っています。住む場所があってもなかなか仕事につながりませんが、仕事があれば、家も人のつながりの中で探せます。そして、家も仕事も「人脈」に助けられることは多いです。

私の仕事は、移住をしたい方と移住者を求めている行政などの間に立ち、双方の話を聞き、それぞれの譲れる部分、譲れない部分を、間に立ってうまくつないでいくことです。今すぐ、ということではなくても、2年後、3年後も視野に道内移住を考えている方は、北海道ふるさと回帰支援センターをみなさんの「人脈」のひとつに加えて、いつでもご相談ください。

地域おこし協力隊@後志総合振興局

▶地域おこし協力隊とは、そもそも…。

総務省が地域活性化の目玉企画として始めた協力隊も7年が経過し、全国に定着してきました。この制度は人口減少や高齢化が進む地方において、都市部から人材を受け入れ、仕事をしてもらい定住・定着をはかるものです。ポイントは最長3年間は収入が保証(200万円/年)され、住居と仕事も基本的には役場が用意します。3年後は自力でその町に自立・定住することが求められることとなります。

▶後志地方の現在の募集状況

12月20日現在で協力隊を募集しているのは2町村です。

赤井川村 職種 情報発信
年齢制限 22歳以上
報酬月額 200,000円
募集人員 1名
住宅 村で用意(予算の範囲内)

蘭越町 職種 食品加工
年齢制限 20歳以上40歳まで
報酬月額 166,000円
募集人員 1名
住宅 3万円以内で実費支給
資格 普通免許保持で自家用車所有のこと

▶後志地方の特徴

現在、地域おこし協力隊の募集を行っているのは2町村です。年間を通すと管内20市町村ほとんどで実施されています。沿岸部の漁業と内陸部の農業は後継者が不足しており、余市町、仁木町の農業は果樹中心で、新規の参入障壁が低く就農しやすいです。

※北海道ふるさと回帰支援センターが運営するポータルサイト「北海道ではたらく!地域おこし協力隊」で情報を発信しています



くらべてみよう、北海道のまち ～後志総合振興局～

	町営・村営住宅	公共料金※1	学校数	子育て支援	子ども医療費助成※3	高齢者支援
島牧村	入居可能な住宅を随時、村のおしらせ・HPで公募。 施設課 0136-75-6272	上水 2,000円 下水 約1,000円 浄化槽の地域あり 国保 80,000～85,000円	小1 中1	保育料のめやす※2 8,090円	医療費の一部を助成 小学校終了迄	電話サービス 移送・給食サービス 入浴サービス 除雪サービス 福祉灯油助成、他
黒松内町	空室が発生次第、HPの情報を更新、公募 水道課 0136-72-4432	上水 2,020円 下水 4,040円 国保 100,000～105,000円	小1 中1 高1	保育料のめやす※2 13,200円 出産祝い金 プレミアム商品券の発行 割増販売	保険診療の自己負担額全額 高校終了迄	在宅高齢者福祉金 給食・除雪サービス 紙おむつサービス 福祉灯油・敬老会 お出かけサポート券
真狩村	入居可能な住宅について随時、HPで公募 建設課 0136-45-3617	上水 1,542円 下水 3,903円 国保 120,000～125,000円	小2 中1 高1	保育料のめやす※2 7,400円 利用者負担金を特例により国の定める基準額を55%削減して徴収	49439773 入院・通院の自己負担全額 中学校終了迄	給食サービス 送迎サービス 紙おむつ支給サービス 長寿祝い金 まっかり温泉入館割引
赤井川村	入居可能な住宅を随時、HPで公募 建設課 0135-34-6211	上水 1,230円 下水 3,600円 国保 90,000～95,000円	小2 中1 高1	2歳からの保育料無料 チャイルドシート貸付事業 中学生の海外研修、他	保険診療の自己負担額全額 中学校終了迄	緊急通報サービス 電話サービス 除雪サービス 温泉入浴サービス 敬老年金

※1 北海道HP「北海道内の市町村の財政状況」(平成27年3月31日現在)より。上水は一箇月当たり10㎡使用した場合、下水等は一箇月当たり20㎡使用した場合、国民健康保険は被保険者一人当たりの平均年額。
 ※2 例として、市町村税均等割のみの世帯の3歳児の保育にかかる費用を記載しています。参考：札幌市は8,800円
 ※3 子ども医療費助成は、子どもの年齢等によって所得制限の有無あり(詳しくは各市町村窓口でご確認ください)
 ※4 町村の移住・定住の窓口を記載。

島牧村

面積は437.18km²、人口は約1,600人の漁業を基幹産業とする風光明媚な村です。本村の大部分を占める森林の中には10,700haを有するブナ原生林があり、その懐には落差70m、幅35mの「日本の滝100選」に選ばれた「賀老の滝」があり、訪れる観光客を楽しませてくれます。現在、第四次島牧村総合計画に基づき「豊かな自然と人の温もりを育む村」づくりをめざし、官民一体となって取り組んでいます。

真狩村 「笑顔咲く ふれあいの村 まっかり」

「えぞ富士」と呼ばれ親しまれている羊蹄山の南ろくに位置し、農業を基幹産業として発展してきた純農村です。主要な作物は、じゃがいも、大根、人参などで、中でも食用ユリ根は、全国一の出荷量を誇っています。また、演歌歌手の細川たかさんの出身地としても良く知られ、源泉かけ流しの湯を堪能できる本格派の「まっかり温泉」は、露天風呂からの羊蹄山の眺望に定評があり、温泉ファンを魅了しています。

企画調整係 0136-45-3613※4

黒松内町 「ブナ北限の里 くろまつない」

北海道南西部、後志管内の南端にあり、札幌市と函館市のほぼ中間点に位置します。黒松内低地帯と呼ばれる太平洋を下辺、日本海を上辺とする台形状の盆地に100を超える小河川が張り巡り、日照時間が短く冷涼な独特の気候風土に、酪農、肉牛飼育、稲作、馬鈴しょ、大豆・小豆、小麦、そばが主たる品種となっています。道央道南地域を結ぶ幹線道路3本とJR函館本線が伸び、交通上重要な位置でもあります。

企画環境課 0136-72-3376※4

赤井川村 「人と自然が育む美しい村」

赤井川村は、その四方を山々に囲まれた「カルデラ」状の地形をなしています。盆地特有の内陸型気候で、冬の積雪は多く、北海道内で有数の豪雪地帯です。夏は気温が上がりますが、昼夜の寒暖の差が大きく、果菜類の栽培に適しています。中でもメロンやスイカは甘くておいしいと評判です。主産業は、農業と観光業。農産物の品目は多岐にわたり、作付面積が多い品目は、米、馬鈴薯、南瓜、スイートコーンなどです。

建築係 0135-34-6211※4

発行 特定非営利活動法人 北海道ふるさと回帰支援センター

住所 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74

市民活動プラザ星園 405号室

電話 011-211-0261 FAX 011-211-0271

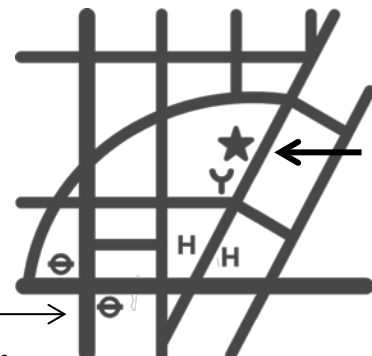
HP <http://www.furusato-kaiki.jp/>

協力 北海道NPO被災者支援ネット

電話 011-552-5900 携帯 080-3230-5900

E-mail kitanpo@gmail.com HP <http://www.npohotweb.com/>

地下鉄南北線
1・2番出口
中島公園駅



市民活動プラザ星園
(消防署となり)

「く・ら・そ」は「平成28年度年賀寄付金配分事業」の一環として発行しています。